



傾聴の心で、本当に必要なサービスを提供したい

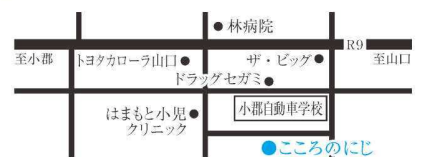
1つ1つのことが自分の夢に繋がると思うと頑張れましたね。

創業計画書を片手に

平成28年4月に事業が本格的にスタートして以降、介護サービス利用者や家族の話に傾聴の心を持って接し、希望に添うサービスを提供することを心掛けてきました。おかげ様で創業計画通りに進めることができ、従業員の雇用を考えられるようになりました。創業計画は指針になりましたし、見直しながら中期を考えられる大事なものだと思っています。

将来も安心の介護サービスを

独立して感じることは、従業員の時と同じ業務をしても上回る充実感です。これはお金に換えられませんね。自分も含めて、いずれ介護を必要とする時期はやってきます。その時に不安を感じることはないよう、今後は介護保険外のサービスにも範囲を拡げ、将来的には総合的な介護サービスの充実を目指したいと思っています。



※起業カレッジとは
起業に興味がある方から起業後間もない方までを対象に、各段階に合わせて起業の基礎知識から学び、実践的な事業計画書の作成までをおこないます。今年度は7/2から開催します。



居宅介護支援事業所 ところのじ (株) AKO

代表者：加世田 文広
所在地：山口市小郡下郷 850 - 20

TEL：083 - 976 - 8501
事業内容：居宅介護支援事業

営業から医療・介護の世界へ

私は熊本出身で、大学進学を機に山口に来て30年以上が経ちました。今は介護の道に進んでいますが、当初は学習教材やコピー機の営業をしていました。営業は1番苦手とするところでしたが、敢えて飛び込んで鍛えて貰いましたね。その後は医療機関に事務として14年間勤務。その中で福祉に興味を持ち、介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格を取得して転職しました。

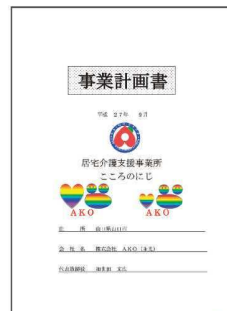
責任とやりがい

ケアマネージャーの主な業務は、介護保険制度において要支援・要介護認定者と家族の相談を受けて介護サービスの給付計画を作成したり、介護サービス事業者との連絡調整です。事務とは異なり、ケアマネージャーは自分で判断できる範囲が広く、責任の重さとともにやりがいを感じました。経験を積みながら、より良いサービスを提供したい気持ちが強くなり、独立を考えるようになりました。



起業カレッジのつながり

起業に向けた準備として、商工会議所の起業カレッジ(※)を受講しました。知識の習得だけでなく、起業を志す者同士の交流は良い刺激になりました。特にその年は介護分野での起業が3人いて、今でも事業のことなど連絡を取り合っています。また、起業カレッジでは金融機関との繋がりができるので、融資の相談もしやすかったですね。



起業カレッジ受講時

何事も、まずは自分で

介護事業所として認定を受けるには法人が要件なのですが、法人設立には定款作成など複雑なことも多く、専門家に依頼される場合も多いです。しかし、私は何事もまずは自分でやってみようと、時間はかかりましたが全て自分でやりました。